

探してみよう
出来ること！！

障害のある学生への支援のための

学生・保護者・高等学校向け

Handb👁️👁️K

詳しくは
開いてみよう！

この Handbook を手にとっているみなさまへ

大学の目的は、学生が、高度な専門知識を修得するとともに、社会で必要とされる力を身につけることができるよう支援することです。それは、すべての学生に等しく提供されるべきものであります。

沖縄国際大学では、障害のある学生の等しい学びの機会の提供と、キャンパスライフにおけるバリアを取りはらい、すべての学生が充実した大学生活を過ごせるよう支援を行っております。障害のある学生やキャンパスライフに困難を感じる学生からの相談を受け付けておりますので、どうぞ気軽にご相談ください。

この Handbook は、本学が目指す支援を、学生や保護者、高等学校の先生方に理解していただくためのものです。「何かできることをしてみよう」「手伝うことをしてみよう」という気持ちと行動が、ダイバーシティキャンパス※の実現のための一歩になると信じています。

※ダイバーシティキャンパス：性別・セクシュアリティ・人種・障害に関わらず、多様性を認め合い、差別のないキャンパスのことを表します。

CONTENTS

本学が目指す支援の理念	1
● 支援の相談	2
● 支援制度の利用	
● 入学試験時の配慮	
支援体制について	4
支援の具体例について	6
バリアフリーマップ	8

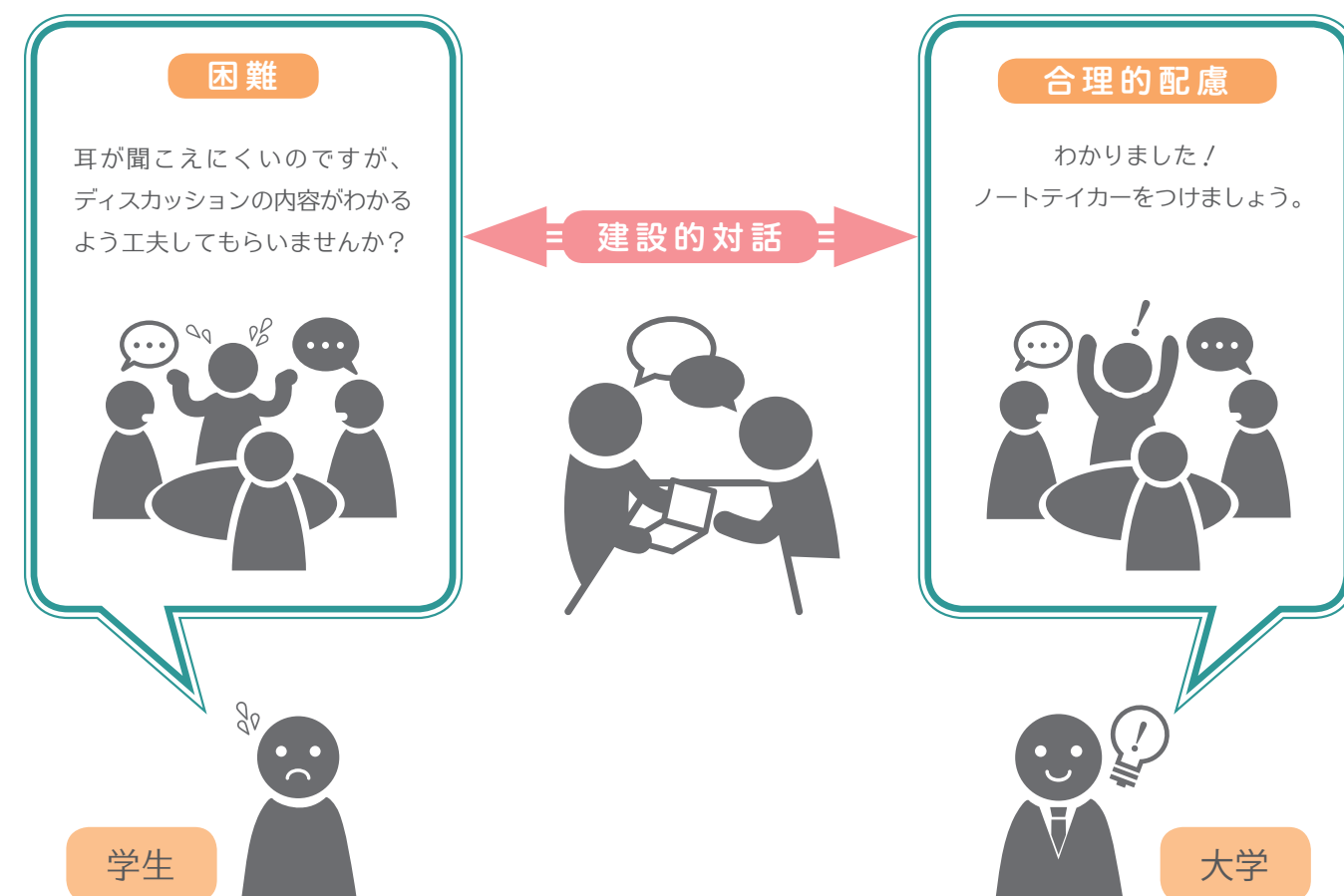
本学が目指す支援の理念

沖縄国際大学が掲げる「人類の平和と共生を支える学術文化を創造する」「豊かな心で個性に富む人間を育み、地域の自立と国際社会の発展に寄与する」という理念は、人々が、個人として尊重され、分け隔てられることなく、相互の人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の創造を目指すものです。

本学はこうした理念に基づきダイバーシティキャンパスを目指し、障害の有無に関わらず、学生が等しく教育を受ける権利を実現できるよう支援を行うことを基本姿勢とします。また、障害を理由に不当な差別的な扱いを受けたり、教育・研究や学生生活を等しく送る権利と利益を侵害されることがあってはならないと考えます。

障害のある学生への支援は、一般的・抽象的ではなく、個別の事案ごとに支援を必要とする学生との「建設的対話」を通じて継続的に支援の検討を行っていくべきものです。

本学の教職員は「沖縄国際大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領」（以下「対応要領」と略記）にもとづき、「建設的対話」をふまえた「合理的配慮」を行います。



支援の 相談

障害のある学生や、修学上の困難がある学生の
あらゆる相談を、学生支援室で受けつけます。

まずは、相談をしてください。皆さんの困っていること、
悩んでいることを話すことから始めましょう。



学生支援室

場 所：9号館1階
窓 口：9:00～19:00（月～金）
T E L：098-893-0069
E-mail：socwelf@okiu.ac.jp



入学試験時 の配慮

入学試験受験時に特別な配慮を必要とする方は出願に
際し、入試要項で定められた期日までに入試センターへ
問い合わせをしてください。入学試験に必要な配慮が相談
できます。

受験上の心配事や支援内容について学科・研究科等
において協議し、入学試験受験の際の配慮内容を決定します。
決定内容は、入試センターから出身校を通して通知されます。



受験上の配慮例

- ・出願書類作成時の配慮
- ・試験時間の延長
- ・問題用紙・解答用紙の拡大
- ・アクセスしやすい受験教室
の割当て

入試センター

場 所：本館1階
窓 口：9:00～17:00（月～金）
T E L：098-893-8945
E-mail：entchr@okiu.ac.jp

支援制度の 利用

1. 相談

まずは、困っていることや悩んで
いることを、お話してみませんか。
学生支援室へ気軽に相談に来て
ください。



2. 申請

学生本人が支援の「申請書」を
作成し、学生支援室に提出します
（申請書作成についても、お手伝い
します）。
※「申請書」「調整願」は学生支援室
で配布しています。



3. 面談

「申請書」をもとに、学生（必要な
場合は保護者）と所属学科の教員
及び関係職員が面談を行います。
障害の状態や必要とする支援内容
を確認します。
※支援開始後も、定期的に面談をし、
支援内容の見直しを行います。
支援の内容等を変更することも
可能です。



4. 合意

支援内容を学生本人へ説明し合意
が得られた後、所属学科の教員が
「配慮願」を作成します。
作成した「配慮願」を各講義担当
教員へ学生本人が提出します。



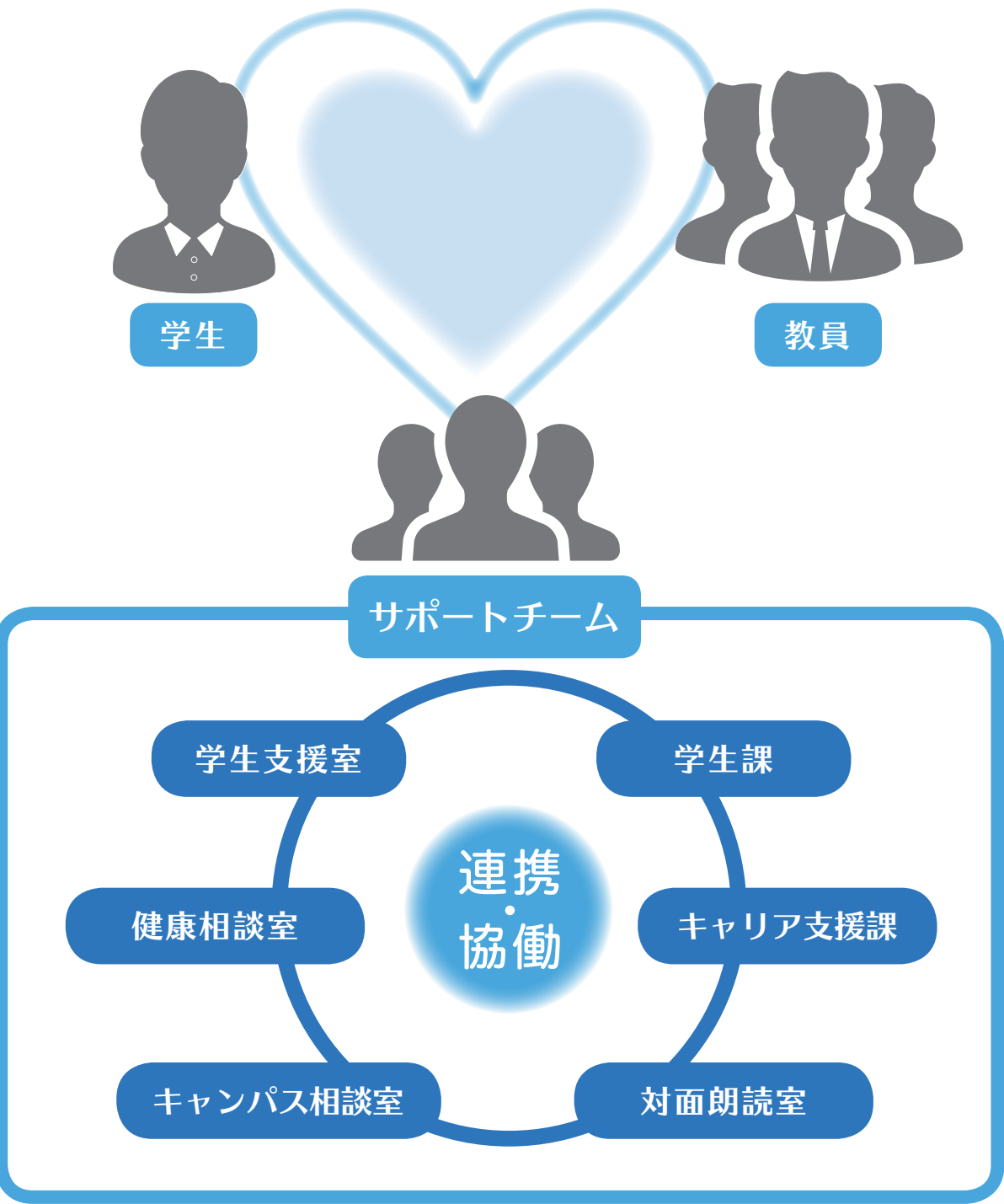
支援開始

支援の変更を希望する
際は、「調整願」を提出
してください。

支援体制について

障害のある学生から下記のような相談を受けた際には、その希望に応じて教員と関係部署が連携を密にしながら対応します。相談は学部・学科をはじめ、相談室等においても可能です。

- 1 修学における支援・配慮が必要な場合
- 2 専門的助言やアドバイスが必要な場合
- 3 カウンセリングを希望する場合



学部・学科 (教育支援全般)

TEL：098-892-1111（代表）

所属学科では、教育上の配慮や、教育相談等について支援を行います。また、履修上配慮が必要な場合も、所属学科長が中心となり、各教員へ配慮の依頼を行います。

学生支援室 (障害学生支援全般)

窓口：9:00～19:00（月～金）
TEL：098-893-0069（直通）

学生支援室では、大学生活において何らかのサポートが必要な学生又は教職員を支援します。コーディネーターが常駐し、一人ひとりの学生に必要なサポートを共に考え、コーディネートしていきます。教職員から、支援方法についての相談も受け付けています。また、「ボランティア情報が知りたい」「サポートに興味がある」などのボランティア活動に関心がある学生の応援もしています。

学内バリアフリー推進活動をサポートし、学内のバリア改善に向けて、教職員との連携・調整を行います。

学生課 (学生支援全般)

窓口：9:00～19:00（月～金）
TEL：098-893-7686（直通）

学生課では、奨学金の相談、アルバイト情報、学費延納の手続き、学生保険などに関する業務を扱っています。また、課外活動や施設設備等の借用、学生補助金などキャンパスライフのサポート全般の窓口となります。

障害学生へは、学生支援室と共同で支援を行います。

健康相談室 (健康面での相談)

窓口：9:00～19:00（月～金）
9:00～17:00（土）
TEL：098-893-9036（直通）

健康相談室では、定期健康診断の実施や健康管理のための指導・助言と、ケガや体調不良に対する応急処置を行います。

キャンパス相談室 (心理カウンセリングによる支援)

窓口：9:00～18:00（月～金）
TEL：098-893-3934（直通）

キャンパス相談室では、専門のカウンセラーが、対人関係全般の悩み、ハラスメントやメンタルヘルスに関する悩みなどの大学生活における様々な相談に応じています。なお、来室したことも含めて利用者のプライバシーは厳守されますので、お気軽にご利用ください。

対面朗読室 (視覚に関する相談)

窓口：9:00～17:00（月～金）
TEL：098-892-1111（内線：5110）

対面朗読室では、視覚障害学生の大学生活を支援します。教材・参考資料の点訳や、学外団体との連携、歩行介助などを行います。

キャリア支援課 (就職に関する相談)

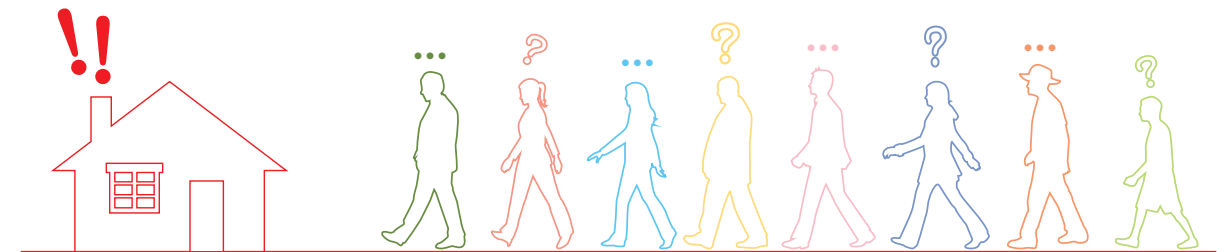
窓口：9:00～19:00（月～金）
TEL：098-893-7779（直通）

キャリア支援課では、就職活動や資格取得をサポートするため、様々な取り組みを行っています。また、就職活動やキャリアアップに役立つ資料を多数揃えています。

支援の具体例について

学生一人ひとりの「困っていること」は、それぞれ異なります。また、「困っていること」も場面・状況によって変化します。

本学は、支援を必要とする学生の「困っていること」を確認し、それぞれに合わせた対応を目指しています。「こんなことでも？」と迷わず、学生支援室までご相談ください。



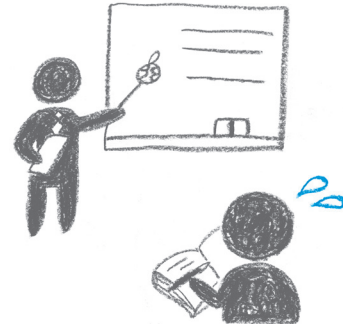
支援の例

段差があり、車椅子での移動に困っています。



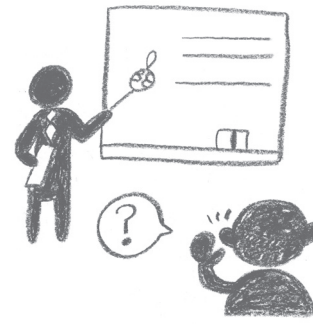
- 建物入口・教室入口にスロープなどを設置します。
- 車椅子専用駐車場から建物の動線を確保します。

板書が苦手で、授業に追いつけずに困っています。



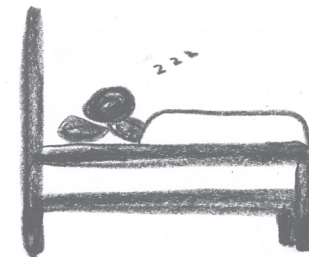
- 黒板・ホワイトボードの写真撮影や、ICレコーダーでの録音が可能です。
- 板書内容がわかるレジュメを配布します。

先生の話が聞き取りづらく困っています。



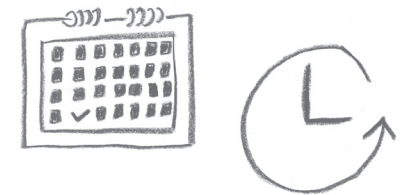
- ノートテイクや文字おこしなどのサポート制度を活用できます。
- 着席位置を配慮します。

身体的に疲れやすく、講義中にも気分が悪くなることがあるので困っています。



- 健康相談室での休憩が可能です。
- 座席を出入口付近に変更し、一時退室しやすい環境を整えます。
- メールなどでの講義資料の配信や課題レポート提出が可能です。

レポート作成や試験に時間がかかってしまい困っています。



- 試験時間の延長や、別室受験を認めます。
- レポート提出方法について、柔軟に対応します。

※授業内容等によって、支援の内容は異なります。

学生サポーター

必要な支援の内容は、障害の種類や程度、環境によって変化し、その支援内容も多岐にわたります。

本学では、肢体不自由のある学生に対する代筆サポート、聴覚障害のある学生に対する情報保障（手書きノートテイク、パソコンノートテイク、文字おこし）などを学生サポーターが行っています。

興味のある学生は裏表紙へ！

利用学生の声

私は生まれつき脳性麻痺で手足が不自由なため、講義の時には代筆サポートの支援を受けています。黒板の板書や重要事項のメモ、講義の時の出席簿を兼ねた感想などの代筆を手伝ってもらっています。代筆サポートを受けているため先生の話を中心して聴くことができ、さらにスムーズに復習することもでき助かっています。

代筆サポーターさんは学年や学部学科問わず多くの学生ボランティアであるため、講義以外にも先輩方から様々なアドバイスをもらったり共通の話題で盛り上がりたりとたくさんの学生と仲良くなったりと学校生活が充実しています。

人間福祉学科 4年次 金城歩未

バリアフリーマップ



災害にあった時は！ 緊急なことに巻き込まれた時は！

緊急時は、障害のある学生にとって、より一層の支援が必要となります。
事前に緊急時の避難場所と避難経路を確認しておき、もしもの時にスムーズな行動を取れるようにしましょう。また、支援する教職員や友人とも避難方法を事前に話し合い防災・減災意識を共有することも重要です。そして、緊急時における家族との連絡方法、帰宅方法についても確認しておきましょう。
日常からの備えが、もしもの時の対応に大きな助けとなります。

バリアフリー設備

- 身体障害者用トイレ
- 身体障害者用トイレ (オストメイト対応トイレ)
- 多目的トイレ
- おむつ交換台
- 身体障害者駐車場
- エレベーター
- 自動ドア

アクセス情報

- 緩い傾斜
- 厳しい傾斜
- 段差あり
- スロープ

その他

- 避難場所
- AED

学生サポーター
として活動して
みませんか！



沖縄国際大学には、障害のある学生を支える学生サポーターとして活動している多くの学生がいます。

学生支援室では、障害のある学生の立場に立ち、責任をもって支援活動に取り組む学生を随時募集しています。関心のある方は、いつでも学生支援室までお越しください。

※学生サポーターへは謝礼が支払われます。

学生サポーターになるには！

1. 学生サポーター登録

学生支援室にて説明をうけて、サポーター登録を行います。

(ノートテイカー)

2. ノートテイク勉強会への参加。

3. サポート開始

授業スケジュールを確認し、空き時間を利用し支援活動を行います。

(代筆サポーター)

2. サポート開始

授業スケジュールを確認し、空き時間を利用し支援活動を行います。

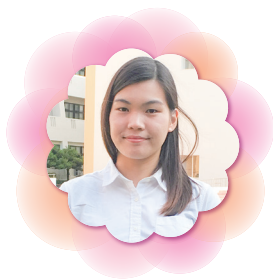
(文字おこし)

2. 文字おこし作業

聴覚障害のある学生が受講する映像教材の音声情報をあらかじめ文字におこします。

学生サポーターの声

Student supporter's voice



人間福祉学科 4年次
當山あまね

大学の講義の学びのなかで、聴覚に障害のある人と関わってみたいと思ったのがきっかけで、ノートテイクボランティアを始めました。最初はとても緊張して先生の話がうまく聞き取れなかったり、聞けてもタイピングのスピードが追い付かずに焦ったこともありましたが、ノートテイクの回数を重ねることでコツをつかんできました。

ノートテイクを通して、自分でも驚くくらい聞く力が高くなり、要約力も身につきました。でも、何より嬉しいことは、隣で見ってくれる利用学生がいて、他愛のない話をし、関係性を築いていく中で、サポートを利用する側の気持ちや思い、私や周りに対しての気遣いを感じることでサポーターの私のほうが、温かい気持ちになり、元気をもらっているようです。また、利用学生のために自分ももっと支援の能力を高めようと、意識が高まります。

沖縄国際大学 学生支援室 ☎ 901-2107 沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目6番1号
窓口：9:00～19:00（月～金）／夏・冬・春期休暇 9:00～17:00／土日祝祭日 閉室
TEL：098-893-0069 E-mail：socwelf@okiu.ac.jp